

サイエンスの限界に挑戦し、 患者さんの人生を変える医薬品を届ける

アストラゼネカ株式会社

<https://www.astrazeneca.co.jp/azkk.html>



What science can do

サイエンスの限界に挑戦し、患者さんの人生を変える医薬品を届ける。アストラゼネカ

アストラゼネカはサイエンス志向のグローバルなバイオ・医薬品企業です。アストラゼネカでは、私たちが社会に最も貢献できること——“健康”を基盤に、「医療アクセス」「環境保全」「倫理と透明性」に注力することで持続可能な社会の実現を目指しています。

アストラゼネカ株式会社 **AstraZeneca**
〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪タワーB
<https://www.astrazeneca.co.jp/>



わたしたちの仕事

アストラゼネカは、イギリスのケンブリッジに本社を置き、世界100カ国以上に拠点を持つ製薬会社です。創業以来、常にサイエンスの限界に挑戦し続け、世界初となる数々の医薬品を世の中に送り出してきました。みなさんの健康を守るために日々努力を続けています。

また、脱炭素社会の構築をめざし、業種の枠を超えて政府や他の企業とのパートナーシップにより、様々な取り組みを進めています。

アストラゼネカがめざす
サステナビリティ (持続可能性)

2026年までに → 98% 削減 [2015年比]
グローバル事業の温室効果ガス排出量を

2030年までに → 50% 削減※ [2019年比]
カーボンネガティブ
バリューチェーン全体で

2045年までに → 90% 削減 [2019年比]
ネットゼロ
バリューチェーン全体で



バリューチェーン

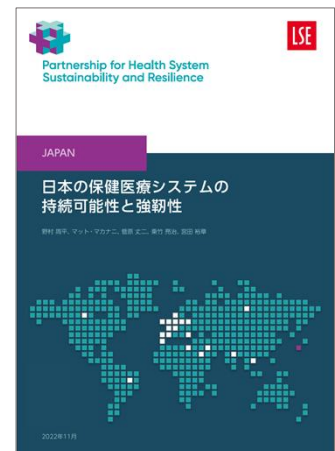
企業が行うそれぞれの事業活動を一連の流れとして捉える考え方

だれもが必要な医療を受けられるための取り組み*

● PHSSR (持続可能でしなやかな医療の仕組みを実現するための協力)

- 医療DX (保健医療のデジタル化とデータの利活用) の推進
- プラネタリーヘルス (地球の健康と人々の健康は一体である) の実践として、保健医療体制における脱炭素化を推進
- NCDs (生活習慣病、呼吸器疾患、がんなど) の早期発見・治療の推進

*コロナ禍では、病院のベッドが足りなくなったり、大事な手術が延期されたりしました。これらの経験を生かして、将来に向けて医療の仕組みを改善していくことが重要です。



環境保全の取り組み

● 二酸化炭素排出の削減、プラスチックごみの削減に向けて

- 国内初となる二酸化炭素排出実質ゼロの新幹線出張の新サービス開始
- 米原工場の通勤バスをEV化
- 社内に設置している自動販売機におけるプラスチックボトルの販売を廃止、マイボトルを推進



● 社員が自発的に行った日本各地のボランティア活動

2025年、社員の過半数以上 (全社員の51%) 約1,694人が日本各地でボランティア活動を行い、海洋汚染の主な原因であるプラスチックボトルや不法投棄されたごみを回収しました。

